

過程	学習リーダー（司会役）・教師	児童・生徒	教師
資料（問題）の提示	■「振り返りぶつぶつタイムです。 まず、1人で声に出して昨日の学習の振り返りを読んでください。そのあとペアで伝え合ってください。」 ■「〇〇君、△△さんの言ったことを発表してください。」 ■「先生、今日の問題をお願いします。」	■自分でノートを開き、前時の振り返りを、声を出して読む。 ■終わったら、ペアで「よろしくお願いします」とあいさつをして、右側の人から相手に伝える。 ■二人が言い終わったら、同じだった所や相手が言ったことについて簡単に感想を伝え合う。 ■伝え合ったことを発表する ■問題を写し、鉛筆で囲む。 ■問題を写した者から、㊦“わかっていること”青線、㊧“きかれていること”赤線を引く。また、これまでの学習との違いに気づいたことは、㊨としてノートに書く。 ■また、この問題をどのように解いていけばいいか、その予想や見通しを考える。	●振り返りの状況を注視する。 ☆2分以内が目安 ●問題の提示（資料や問題文を黒板に書く。） ・「今日の問題を書きます」（いつものように進めてください。） ☆5分程度が目安
問いをもつ・問いの共有	■学習リーダーは、ノートに記録後、黒板の問題に、赤線、青線、を引く。 ■全体の状況を見て、問題の確認をする。 ・「それでは、みんなで問題を読みましょう。」 ※リーダーが読む場合もある ・「この問題で、わかっていることは、・・・で、いいですか？」 ・「聞かれていることは、・・・で、いいですか？」 ・「どのように解いていけばいいのか、式や答えの予想や見通しをもてた人は発表してください。」 ・「また、これまでの学習との違いについても気づいたことを発表してください。」	■この問題をどのように解いていけばいいか、その予想や見通しを考える。 ■どのように解けばいいのか自分の考えを発表する。 ※これまでの学習のキーワードや教科用語などを使う。 ■これまでの学習と何が違うか、これまでの学習の何を使えば解けそうかを発表する。	●今日の課題や課題解決に迫っていけるよう視覚的な板書をする ●わかっていること、きかれていること、今日の学習のねらいにせまっているかなど、留意する。 ●これまでの学習のキーワードを必要に応じて適宜板書する。 ☆タイムマネジメントに留意
課題の設定	■「今日の課題は、どうしますか？」「課題を書いた人から〇回読んだら座りましょう。」 ■「みんなで課題を読みましょう。」 ■[グーパー確認をします。] グー：困っている パー：自力解決に行けそう ※[パーの人は、隣や班の困っている人にヒントを出しに行きましょう。] ■「今日の「シラバス」は、・・・です。」 ■「今日の「言語わざ」は、・・・です。」 ■「先生は、まとめの書き出しを書いてください。」	■課題を考え、決まった課題を ノートに書き 、青鉛筆で囲む ■課題を読む ■自力解決に行けそうかどうかの確認。 ■まとめの書き出しを書く。	●児童・生徒の意見から、課題を設定させ板書をする。 ●グーがあまりにも多い場合は、再度の全体確認をリーダーに促す。 ●グーの児童・生徒を把握し、支援の方策を（友達支援、教員支援等・ヒントカード等）判断する ●シラバス、言語わざの提示 ●まとめの書き出しを書く
自力解決	■「1人学びを始めましょう。 分です。」 ■「自力解決に入り、1分たちました。困っている人は書けた人に聞きに行ってください。」「書けた人は、困っている人に教えに行きましょう。（机間指導）」 ■（タイマーを止めて）「書いた人は、一人ぶつぶつをして下さい。」	■ノートに自分の考えを書く。	●机間指導 ●聞きに行きやすいように、声をかける。
集団解決	■「ペア学びをしましょう。二人ぶつぶつタイムです。」 ■「立ち歩いて教え合いをしましょう。」 ■「班学びをしましょう。㊩をしなながら。4人で話し合いましょう。」 ■「学び合いをしましょう。意見や事実、分かったこと、班で考えたことをまず発表してください。」 ※「今日は、・・・。」 ■「では、これらの発表をもとに考察をしましょう。違う点や同じ点を発表しましょう。」 ※意見が出にくい場合は、ペアで伝え合いをさせる。 ■「先生、修正をお願いします。」	■よろしくお願いします ■友達のノートを見て回り自分のノートに書き加えてください。」 ■1番：司会、右回りで進める。 ■必ず挨拶をしてスタートし、端的に説明する。 同じところ、似ている所、少し似ているが違う所がある、分かりやすい図など ■ホワイトボード等を準備し、自分の考えを書く。友達と一緒にでも、必ず全員が書く。 ※共同ボードや一人一人ボードあり（適宜） ■自分の間違いに気づいたら、そのことを説明できるようにする ■リーダーの指示内容によって発表する。 ■学習課題に向けて、学び合いの内容をもとに考えたことを発表する。	●班内での加除修正はOK。なぜ、そう気づいて修正したのかを言葉等で説明できるように支援する。 ●ホワイトボード等を準備する。 ●ホワイトボードには、全員に書かせる ●A：各班発表つなぎ ○B：黒板掲示→眺めて気づいた点等（同じ、似ている、相違点など）発表 ・状況に応じて、リーダーがA、B判断でいるように事前に確認しておく。。 ●キーワードを貼ったり意見を板書したりする。 ●でにくいときこそチャンスでペアを仕組む。友達の考えを聞きたい場面である。 ●必要に応じて、修正等を行う。
（まとめ）価値の共有	■「では、今日の学習のまとめを自分で書いてください。書いた人は一人ぶつぶつタイムです」。 ■「まとめをペアで話してください。二人ぶつぶつタイムです。」 ■「まとめを全体で発表してください。」	■発表内容や考察を基に、今日のまとめを自分の言葉で書き、読んでみる。赤鉛筆で囲む。 ■書き足したいことがあったら、書く	 ●児童・生徒の言葉を使ってまとめる。
振り返り	■「振り返りを書きましょう。書いた人は、一人ぶつぶつタイムです。」 ■「これで終わります。」	■①わかったこと ②友達から学んだこと(賛成・反対等)③もっとこんなことをしてみたいの3視点から書く	●字数を指定する。
反省会 ミニ授業	■「ミニ授業反省会をします。」 ＊今日の良かったところはありますか。 ＊今日の課題はありましたか。 ＊こうしたらという改善策はありませんか。		

